

令和3年度 文京区立林町小学校 授業改善推進プラン

4年

教科	指導上の課題の分析	授業改善の具体的な方策	評価（成果と課題）
国語	<p>○知識・技能の到達度が、30%～90%台と開きが大きい。</p>	<p>○物語文では「登場人物の心情」がわかる言葉や文にラインを引き、それぞれの登場人物の心情を考えられるようにする。</p> <p>○説明文では「大事な言葉」「繰り返されている言葉」等を中心に段落のつながりを考え、初め、中、終わりの組み立てをまとめられるように指導する。</p> <p>○説明文や物語文で、文章内のキーワードを確認する活動を取り入れる。</p> <p>○段落や文のまとまりごとに内容を要約する練習を行う。</p>	<p>○キーワードにラインを引かせることで言葉に注目して読む力は向上した。人物の心情は直接的に表現されるだけでなく、比喩や情景で表現されることを知り、多角的にとらえることができた。知識・技能の到達度の差は依然として開きが大きい。</p> <p>○文章を要約する力を育む上でも、キーワードにラインを引くことは有効であり、要約した文章を意欲的に書くことができた。</p>
社会	<p>○知識・技能も思考・判断・表現も到達度は60%以上と高い。しかし、ノートや制作物を見ても、資料から読み取ったことを自分の言葉でまとめることを課題としている。</p>	<p>○社会的事象を人々の生活との関連を踏まえて理解させる。</p> <p>○毎時の授業で、資料から読み取ったことを自分の言葉でまとめるようにする。</p>	<p>○自分たちの生活の中から学習課題を設定することで、社会的事象と日々の生活に関連をもつことができ、積極的に学習に取り組んだ。</p> <p>○資料から読み取る力は育っているが、自分の言葉でまとめることは十分とは言い難い。</p>
理科	<p>○知識・技能も思考・判断・表現も各クラスで到達度が70%以下の児童が3～6%いる。</p> <p>○予想を立てることが苦手な児</p>	<p>○学習内容がどのようにつながっているのか理解し、自分で学習内容をまとめることができる。</p> <p>○予想やその根拠について自分の考えをもつことができる。</p>	<p>○問題解決の型を決めることで、予想から結論までの思考の流れがスムーズになり、内容の理解が深まった。知識・技能、思考・判断・表現</p>

	<p>童が多い。また、予想を立てるにあたり、その予想の根拠となる経験が少なかったり、思い出せなかったりする児童がいる。</p>	<p>○個別支援に力を入れ、学んだことが身に付いているか確認をしながら授業を進めるようにする。</p> <p>○意見交換の機会を設定し、予想やその根拠について話し合うことで自分の考えをもてるようにする。</p>	<p>の到達度は70%以下の児童が5%以下となった。</p> <p>○予想をたてる時間を多くとることで意見交換が活発になり、自分の考えがもてるようになった。</p>
<p>体育</p>	<p>○動きのポイントを理解して取り組む児童が多い。</p> <p>○自分の課題を見付け、課題解決に向けてどうすればよいかを考えて運動するまでにはいたらない。</p>	<p>○技能のポイントを理解しながら自分の課題を見付け、目標に向かって意欲的に学習できるようにする。</p> <p>○チームで話し合う時間では、良いところや課題を話し合えるように見るポイントを示す。</p> <p>○学習カードを活用することで、動きのポイントを理解し、課題を見付けられるようにする。</p>	<p>○映像資料を活用しながら技能のポイントを押さえて学習を進めた。</p> <p>○多くのポイントを一気に押さえず、段階的にポイントを押さえることで技の習得ができた。</p> <p>○学習カード、タブレットを活用して自身の課題を意識して活動することができた。</p>
<p>総合的な学習の時間</p>	<p>○課題を見付けることはできるが、追究の動機が浅い。</p> <p>○追究する際に、調べることは一生懸命取り組むことができるが、まとめることや自分の意見をもつことに課題が見られる。</p>	<p>○学習に対する意欲を高くもち、課題を追究できるようにする。</p> <p>○相手に分かりやすく伝えられるように書き方や話し方を工夫し、課題に対して自分の意見をもてるようにする。</p> <p>○新しい単元に入るときに課題を見付けるための材料を十分に提供し、追究の動機が深くなるようにすることで意欲を高くもたせる。</p> <p>○分かりやすくまとめられるようにするために、国語で学んだことを生かしたり、本を提示したりして、分かりやすくまとめる方向を知らせる。また、課題に対して自分の意見をまとめる時間を十分に取る。</p>	<p>○自分たちが主体的に取り組むという意識や動機が高まった。</p> <p>○タブレットを活用することでたくさんの情報にふれながら学習を進めることができ、目的に応じてパワーポイントや模造紙、新聞など様々な媒体で発表することができた。</p> <p>○国語で学習した要約の技術を取り入れてまとめることができた。</p>